

「コーヒー豆缶から生まれる至福のひと時」

キャップ毎にMon. Tues. Wed. ... Sat. Sun.と印された7種類のコーヒー豆缶が店頭に並ぶコーヒースタンド“7 Story.co”を訪れ、内田店長からお店の名前にちなんだ7つのストーリーを伺いました。

“7story.co”では焙煎したコーヒー豆を1杯分ずつ入れて中を真空にしたスチール缶に詰めて販売しています。もちろんその場で缶を開けて中の豆を挽いてもらい、至福の一杯を味わうこともできます。大阪市のJR福島駅、阪神福島駅から南へ歩いて10分程に位置し、外国人旅行者もよく来られるそうです。



↑ケースにはコーヒーの産地ごとの紹介がされております

[一週間分の詰め合わせセット]

★ストーリーその4「缶のデザイン」

缶に入れた豆の味覚に合わせて新しいデザインも増やしています。花人・赤井勝先生とコラボした紫陽花をあしらったデザインも出来ました。

★ストーリーその5「誰でも飲める」

子供向けカフェインレスも用意しており、2歳の常連客もあります。

★ストーリーその6「缶の再利用」

小物入れやミニ盆栽などそのまま捨てるにはもったいない缶です。

★ストーリーその7「事業展開」

福島店に続き、東京新宿に二号店をオープンしました。まずは7店舗を目指しています。通販ではアマゾンで購入できます。

★ストーリーその1「なぜスチール缶なのか」

焙煎した豆は空気に触れると酸化して味が落ちていきます。真空状態で鮮度を保てるスチール缶が最適です。

★ストーリーその2「商品化に向けて」

開発から商品化まで2年かかりました。缶に豆を入れたパックテストも1年かけました。

★ストーリーその3「コーヒー豆へのこだわり」

世界のブランドを吟味して買い付けています。現在は26種類を揃えています。



[店内でコーヒーを入れる内田店長]

[お店の外観]



<取材後記>

コーヒー豆を一杯分ずつ缶に詰めるという発想に驚きました。缶の活躍の場が広がっていく嬉しさを感じました。

三国金属工業(株)営業部 進藤

[缶を再利用したミニ盆栽]

<取材協力> “7story.co”

大阪市福島区福島1-2-4ヤタリュウビル1F

TEL:06-4400-7829